

基本方針に定める移動等円滑化の 目標達成状況

基本方針に定める移動等円滑化の目標達成状況の概要(2017年度末)

バリアフリー法に基づく基本方針に定められた整備目標達成に向け、移動等円滑化を推進。

		2017年度末 (現状)	2020年度末までの目標(令和2年度末)
鉄軌道	鉄軌道駅※1	89%	○3,000人以上を原則100% ○この場合、地域の要請及び支援の下、鉄軌道駅の構造等の制約条件を踏まえ可能な限りの整備を行う ○その他、地域の実情にかんがみ、利用者数のみならず利用実態をふまえて可能な限りバリアフリー化
	ホームドア・可動式ホーム柵	73路線 725駅	車両扉の統一等の技術的困難さ、停車時分の増大等のサービス低下、膨大な投資費用等の課題を総合的に勘案した上で、優先的に整備すべき駅を検討し、地域の支援の下、可能な限り設置を促進 ※交通政策基本計画において2020年度までに約800駅の整備を行う
	鉄軌道車両	71%	約70%
バス	バスターミナル※1	94%	○3,000人以上を原則100% ○その他、地域の実情にかんがみ、利用者数のみならず利用実態等をふまえて可能な限りバリアフリー化
	乗合バス車両	ノステップバス 6%	約70%(対象から適用除外認定車両(高速バス等)を除外) 約25%(リフト付バス又はスロープ付きバス。適用除外認定車両(高速バス等)を対象)
	貸切バス車両	1,699台	約2,100台
船舶	旅客船ターミナル※1	100%	○3,000人以上を原則100% ○離島との間の航路等に利用する公共旅客船ターミナルについて地域の実情を踏まえて順次バリアフリー化 ○その他、地域の実情にかんがみ、利用者数のみならず利用実態等をふまえて可能な限りバリアフリー化
	旅客船(旅客不定期航路事業の用に供する船舶を含む。)	44%	○約50% ○5,000人以上のターミナルに就航する船舶は原則100% ○その他、利用実態等を踏まえて可能な限りバリアフリー化
航空	航空旅客ターミナル※1	89%	○3,000人以上を原則100% ○その他、地域の実情にかんがみ、利用者数のみならず利用実態等をふまえて可能な限りバリアフリー化
	航空機	98%	原則100%
タクシー	福祉タクシー車両	20,113台	約44,000台
道路	重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する道路	89%	原則100%
都市公園	園路及び広場	51%※2	約60%
	駐車場	47%※2	約60%
	便所	35%※2	約45%
路外駐車場	特定路外駐車場	63%	約70%
建築物	2,000㎡以上の特別特定建築物のストック	59%	約60%
信号機等	主要な生活関連経路を構成する道路に設置されている信号機等	99%	原則100%

※1 旅客施設は段差解消済みの施設の比率。1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上のものが対象。

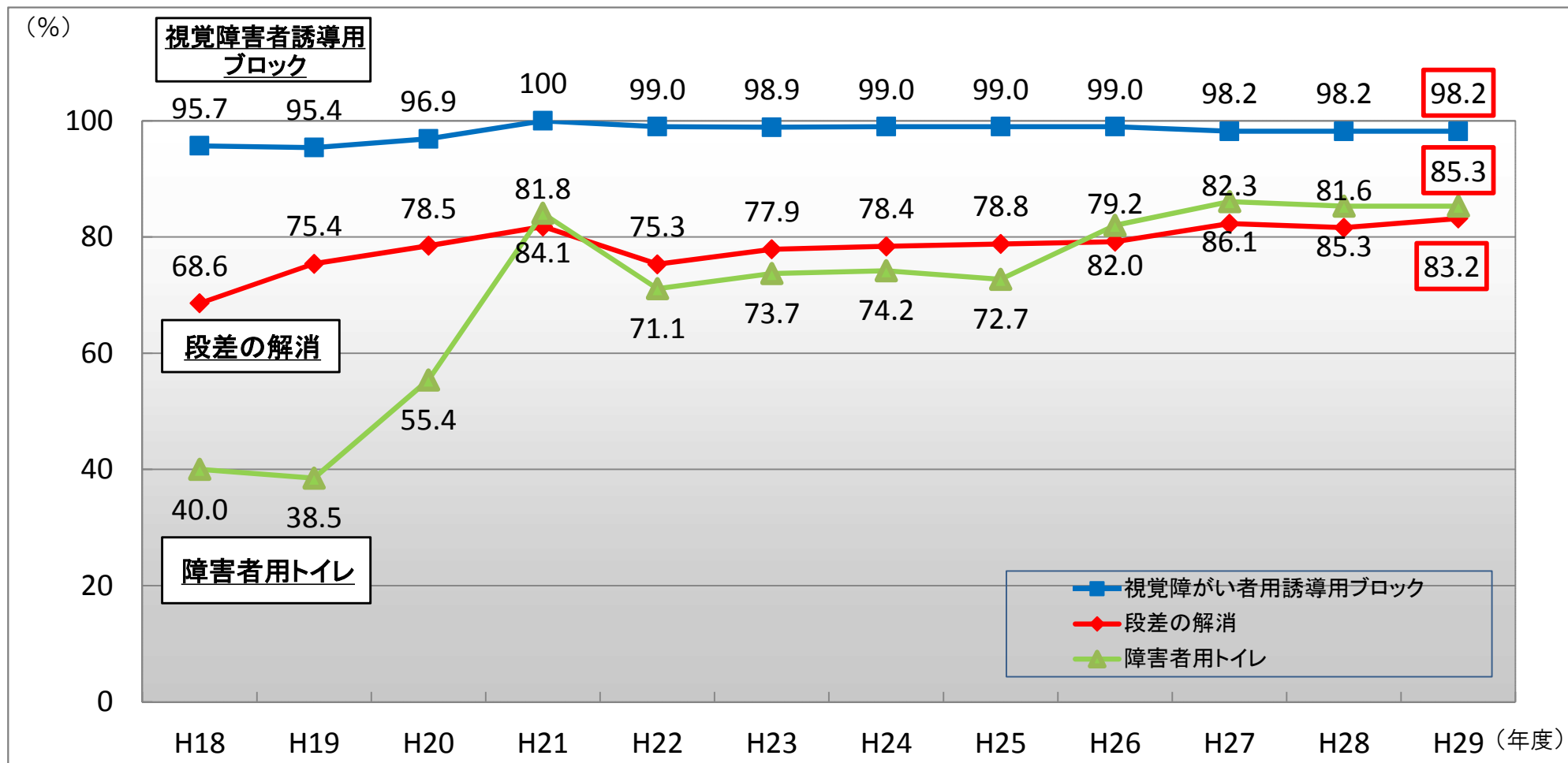
※2 2016年度末の数値

旅客施設

鉄軌道駅のバリアフリー化の推移(東北)

◆鉄軌道駅のバリアフリー化の目標

一日あたりの平均的な利用者数が3千人以上である鉄道駅については、2020年度までに、原則として全てについて、移動等円滑化を実施する。



※H18~22年度までは旧基本方針に基づき1日当たりの平均的な利用者数が5,000人以上の旅客施設、23年度以降は改訂後の基本方針(平成23年4月1日施行)に基づき、1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上の旅客施設の整備状況を示している。

※「障害者用トイレ」については、便所を設置している旅客施設における整備状況を示している。

鉄軌道駅のバリアフリー状況(東北県別)

- ・利用者数が1日平均3千人以上である鉄軌道駅のバリアフリー化は、8割強について実施済。
- ・県別にみると、宮城県の進捗率が高い。

(目標値: 100% / 2020年度末)		東北	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	全国合計
鉄軌道駅	鉄軌道駅数	113	4	13	71	4	5	16	3,575
	(うちトイレ設置駅数)	102	4	11	65	3	4	15	3,340
	段差の解消(駅数)	94	3	7	66	3	4	11	3,192
	割合	83.2%	75.0%	53.8%	93.0%	75.0%	80.0%	68.8%	89.3%
	視覚障害者 誘導用ブロック(駅数)	111	4	13	71	4	5	14	3,372
	割合	98.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%	94.3%
	障害者トイレの設置(駅数)	87	4	7	61	2	3	10	2,846
	割合	85.3%	100.0%	63.6%	93.8%	66.7%	75.0%	66.7%	85.2%

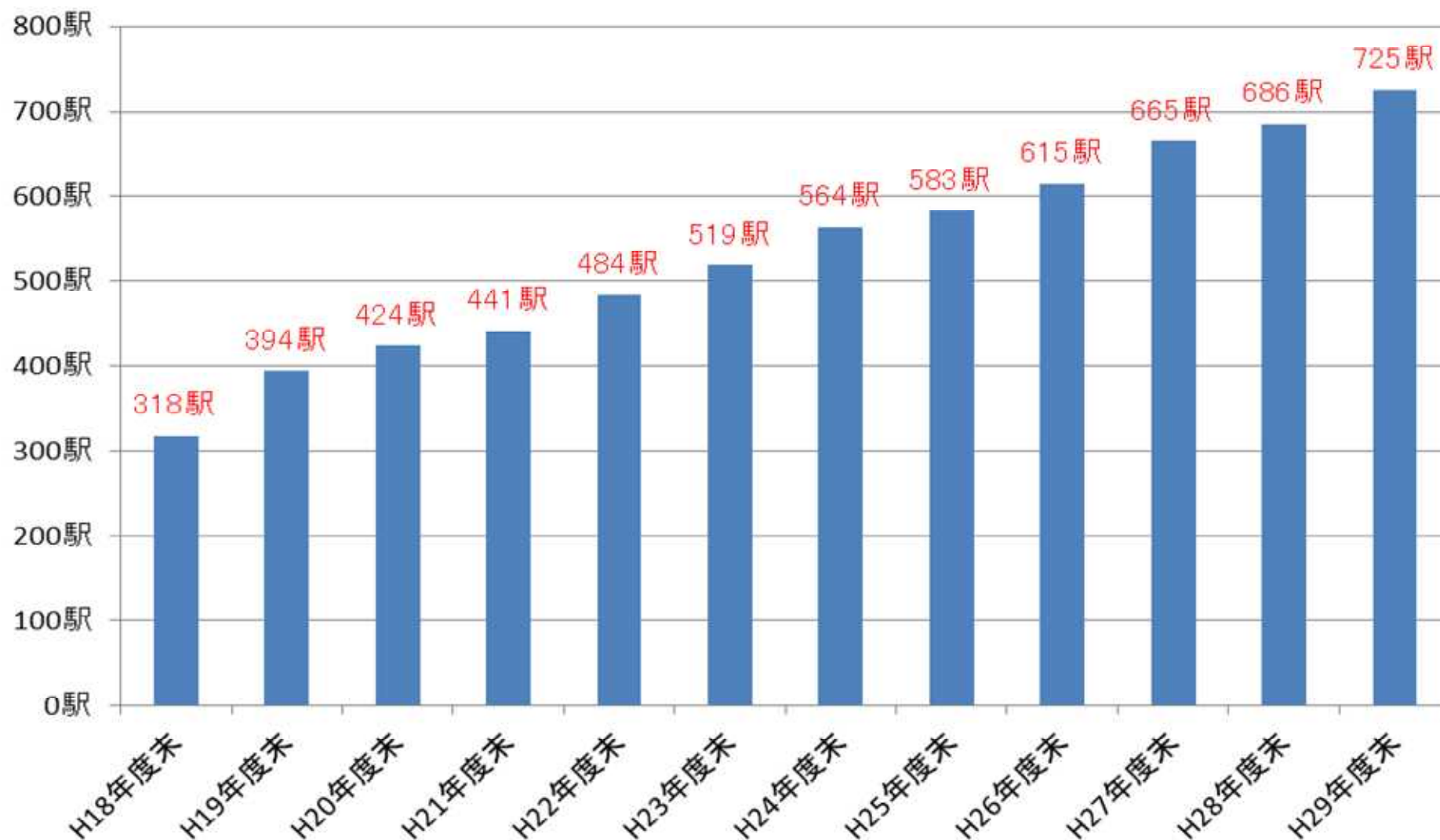
※バリアフリー化率が全国平均より高い地域を赤塗り、低い地域を青塗りとする(以下、同じ)

ホームドアの設置状況(全国)

◆ホームドアの整備目標

車両扉の統一等の技術的困難さ、停車時分の増大等のサービス低下、膨大な投資費用等の課題を総合的に勘案した上で、優先的に整備すべき駅を検討し、地域の支援の下、可能な限り設置を促進する。

※交通政策基本計画において2020年度までに約800駅の整備を行う

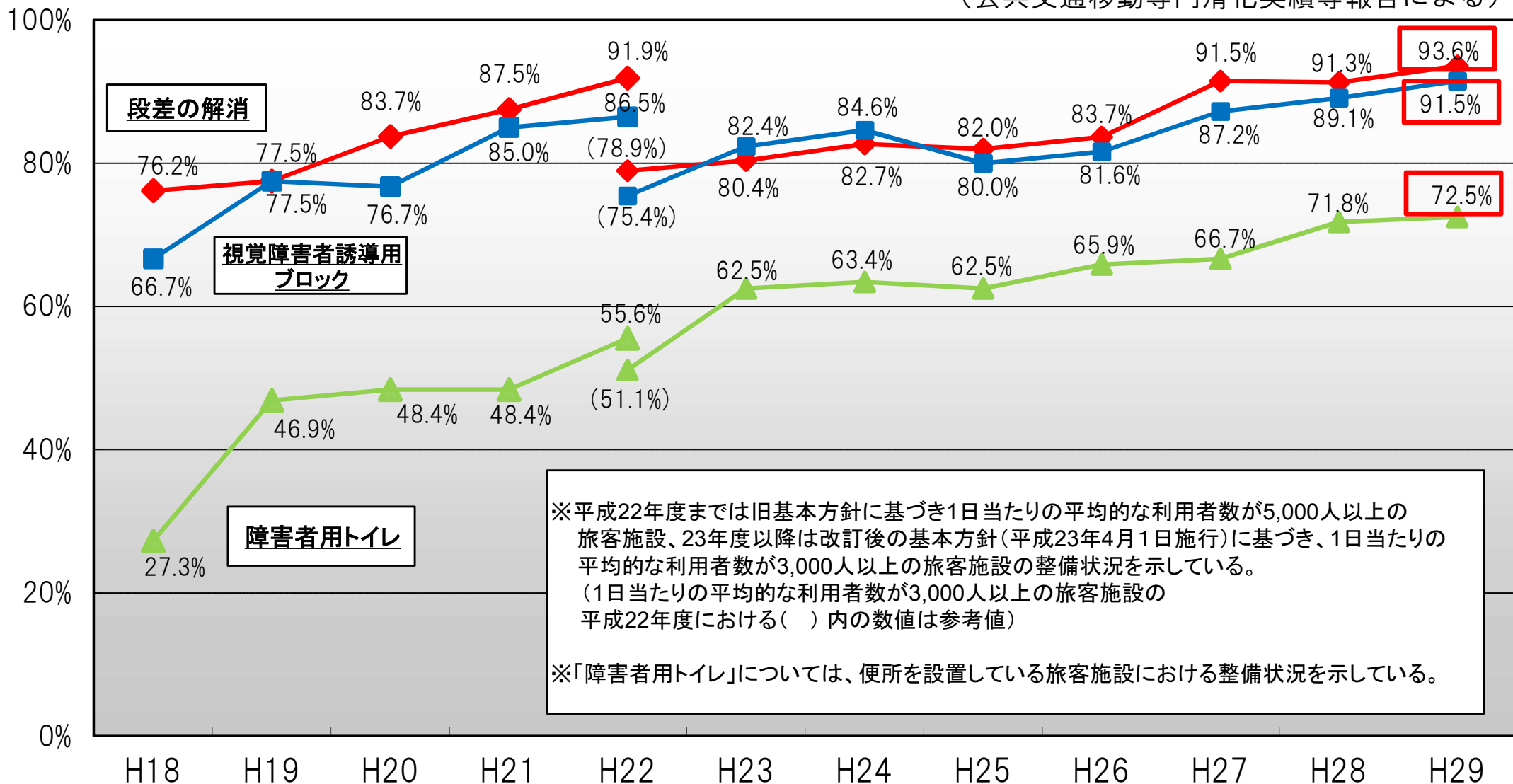


バスターミナルのバリアフリー化の推移(全国)

◆バスターミナルのバリアフリー化の目標

一日あたりの平均的な利用者数が3千人以上であるバスターミナルについては、2020年度までに、原則として全てについて、移動等円滑化を実施する。

(公共交通移動等円滑化実績等報告による)



※平成22年度までは旧基本方針に基づき1日当たりの平均的な利用者数が5,000人以上の旅客施設、23年度以降は改訂後の基本方針(平成23年4月1日施行)に基づき、1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上の旅客施設の整備状況を示している。
(1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上の旅客施設の平成22年度における()内の数値は参考値)

※「障害者用トイレ」については、便所を設置している旅客施設における整備状況を示している。

バスターミナルのバリアフリー状況(地域別)

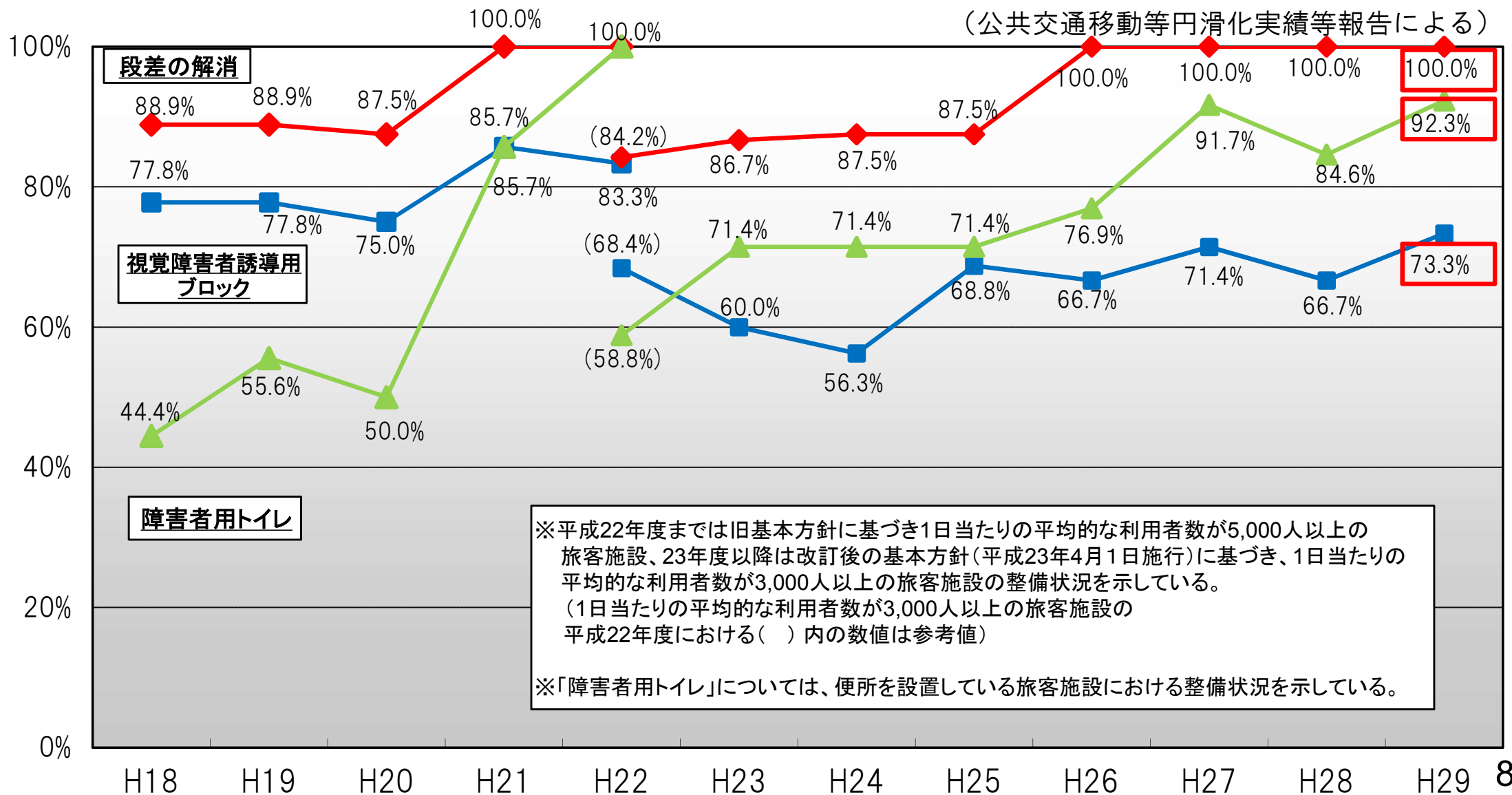
- ・利用者数が1日平均3千人以上であるバスターミナルのバリアフリー化は、段差解消や誘導用ブロックは約9割、障害者トイレについては約7割において実施済。
- ・地域別に見ると、東北、北陸信越、中部、近畿、中国、沖縄の進捗率が高い。

(目標値:100%/2020年度末)	北海道	東北	北陸信越	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	合計
バスターミナル数	13	1	2	5	5	5	1	-	14	1	47
(うちトイレ設置駅数)	11	1	1	3	5	3	1	-	14	1	40
段差解消数(施設数)	11	1	2	5	5	5	1	-	13	1	44
割合	84.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	92.9%	100.0%	93.6%
視覚障害者 誘導用ブロック(施設数)	11	1	2	4	5	5	1	-	13	1	43
割合	84.6%	100.0%	100.0%	80.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	92.9%	100.0%	91.5%
障害者トイレの設置(施設数)	4	1	1	1	5	3	1	-	12	1	29
割合	36.4%	100.0%	100.0%	33.3%	100.0%	100.0%	100.0%	-	85.7%	100.0%	72.5%

旅客船ターミナルのバリアフリー化の推移(全国)

◆旅客船ターミナルのバリアフリー化の目標

一日あたりの平均的な利用者数が3千人以上である旅客船ターミナルについては、2020年度までに、**原則として全てについて、移動等円滑化を実施する。**



旅客船ターミナルのバリアフリー状況(地域別)

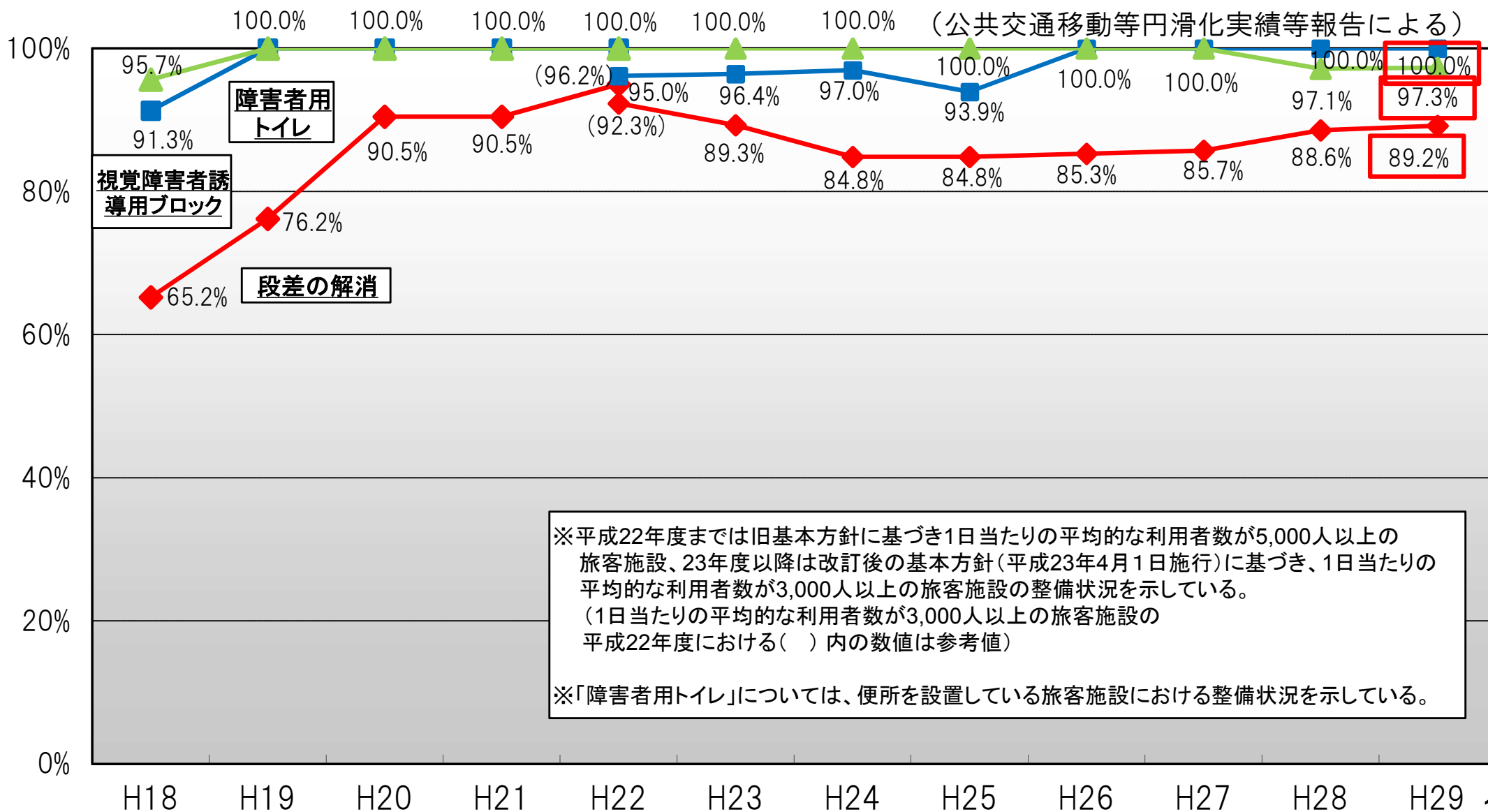
- ・利用者数が1日平均3千人以上である旅客船ターミナルのバリアフリー化は、段差解消については既に目標を達成、誘導用ブロックは約7割、障害者トイレについては約9割において実施済。
- ・地域別に見ると、北陸信越、四国、九州、沖縄の進捗率が高い。

(目標値:100%/2020年度末)	北海道	東北	北陸信越	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄県	合計
旅客船ターミナル	-	-	2	2	-	-	4	1	5	1	15
(うちトイレ設置駅数)	-	-	2	2	-	-	2	1	5	1	13
段差の解消数(施設数)	-	-	2	2	-	-	4	1	5	1	15
割合	-	-	100.0%	100.0%	-	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
視覚障害者 誘導用ブロック(施設数)	-	-	2	1	-	-	1	1	5	1	11
割合	-	-	100.0%	50.0%	-	-	25.0%	100.0%	100.0%	100.0%	73.3%
障害者トイレの設置 (施設数)	-	-	2	1	-	-	2	1	5	1	12
割合	-	-	100.0%	50.0%	-	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	92.3%

航空旅客ターミナルのバリアフリー化の推移(全国)

◆航空旅客ターミナルのバリアフリー化の目標

一日あたりの平均的な利用者数が三千人以上である航空旅客ターミナルについては、2020年度までに、原則として全てについて、移動等円滑化を実施する。



航空旅客ターミナルのバリアフリー状況(東北県別)

- ・利用者数が1日平均3千人以上である航空旅客ターミナルのバリアフリー化は、誘導用ブロックについては既に目標を達成、段差解消や障害者トイレについては約7割において実施済。
- ・県別に見ると、宮城県の進捗率が高い。

(目標値:100%/2020年度末)	東北	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	合計
航空旅客ターミナル数	3	1	-	1	1	-	-	37
(うちトイレ設置駅数)	3	1	-	1	1	-	-	37
段差の解消数(施設数)	2	1	-	1	0	-	-	33
割合	66.7%	100.0%	-	100.0%	0%	-	-	89.2%
視覚障害者 誘導用ブロック(施設数)	3	1	-	1	1	-	-	37
割合	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	-	-	100.0%
障害者トイレの設置 (施設数)	2	0	-	1	1	-	-	36
割合	66.7%	0%	-	100.0%	100.0%	-	-	97.3%

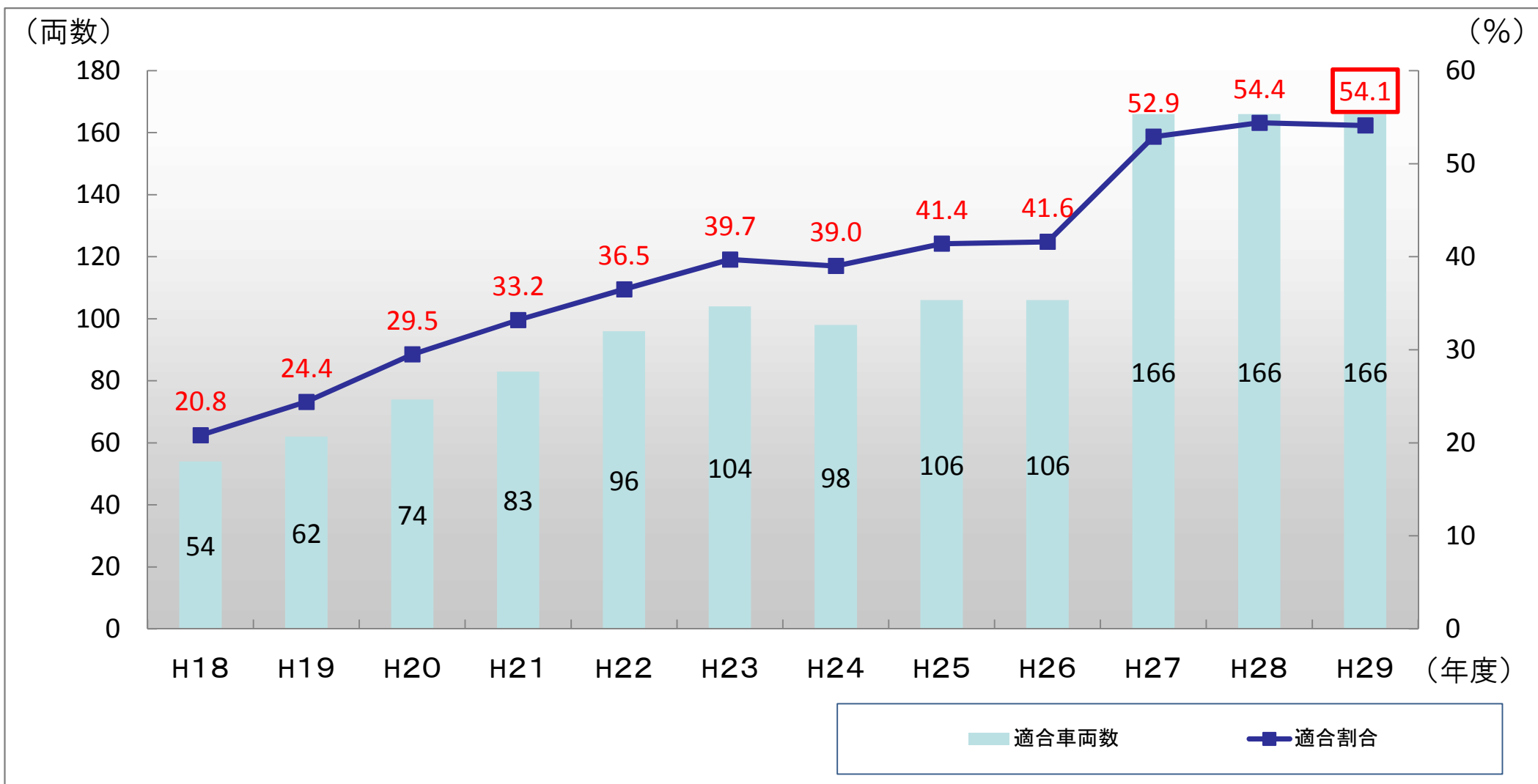
車両

鉄軌道車両のバリアフリー化の推移(東北)

◆鉄軌道車両のバリアフリー化の目標

全国で総車両数約52,000両のうち約70パーセントに当たる約36,400両について、平成2020年度までに、移動等円滑化を実施する。

(公共交通移動等円滑化実績等報告による)



鉄軌道車両のバリアフリー化の推移(東北県別)

- ・鉄軌道車両のバリアフリー化は、5割強について実施済。
- ・県別に見ると、宮城県の進捗率が高い。

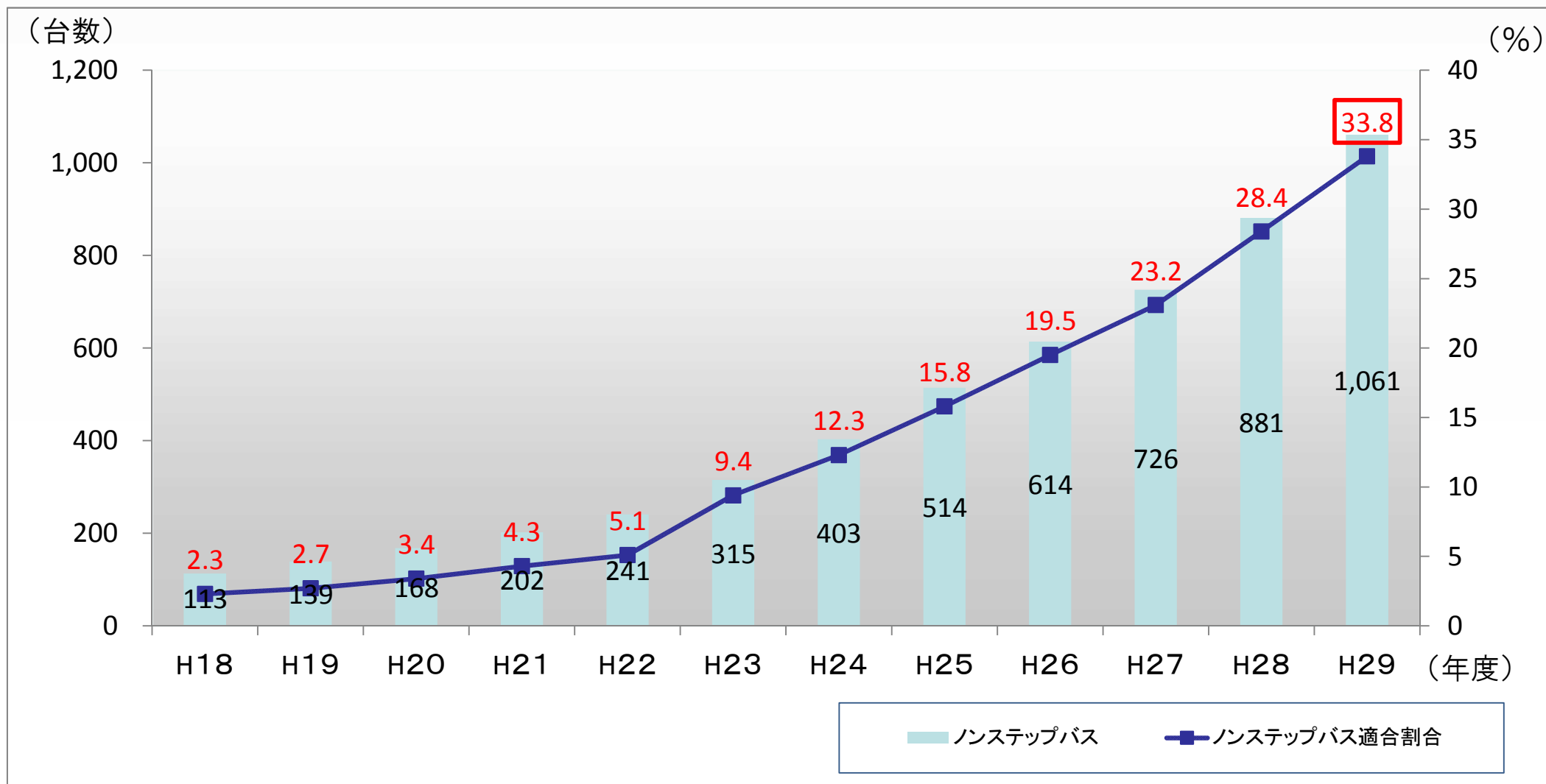
(目標値: 約70%/2020年度末)		東北	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	全国合計
鉄軌道車両	総数	307	57	32	150	18	6	44	52,527
	基準適合車両	166	4	0	150	0	0	12	37,420
	割合	54.1%	7.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	27.3%	71.2%

ノンステップバスの導入の推移(東北)

◆ノンステップバスの導入の目標

全国で総車両数約60,000台からバス車両の構造及び設備に関する移動等円滑化基準の適用除外認定車両約10,000台を除いた50,000台のうち、約70%に当たる約35,000台について、2020年度までにノンステップバスとする。

(公共交通移動等円滑化実績等報告による)



ノンステップバスの導入状況(東北県別)

- ・ノンステップバスは、3割強の導入状況。
- ・県別に見ると、山形県の進捗率が高い。

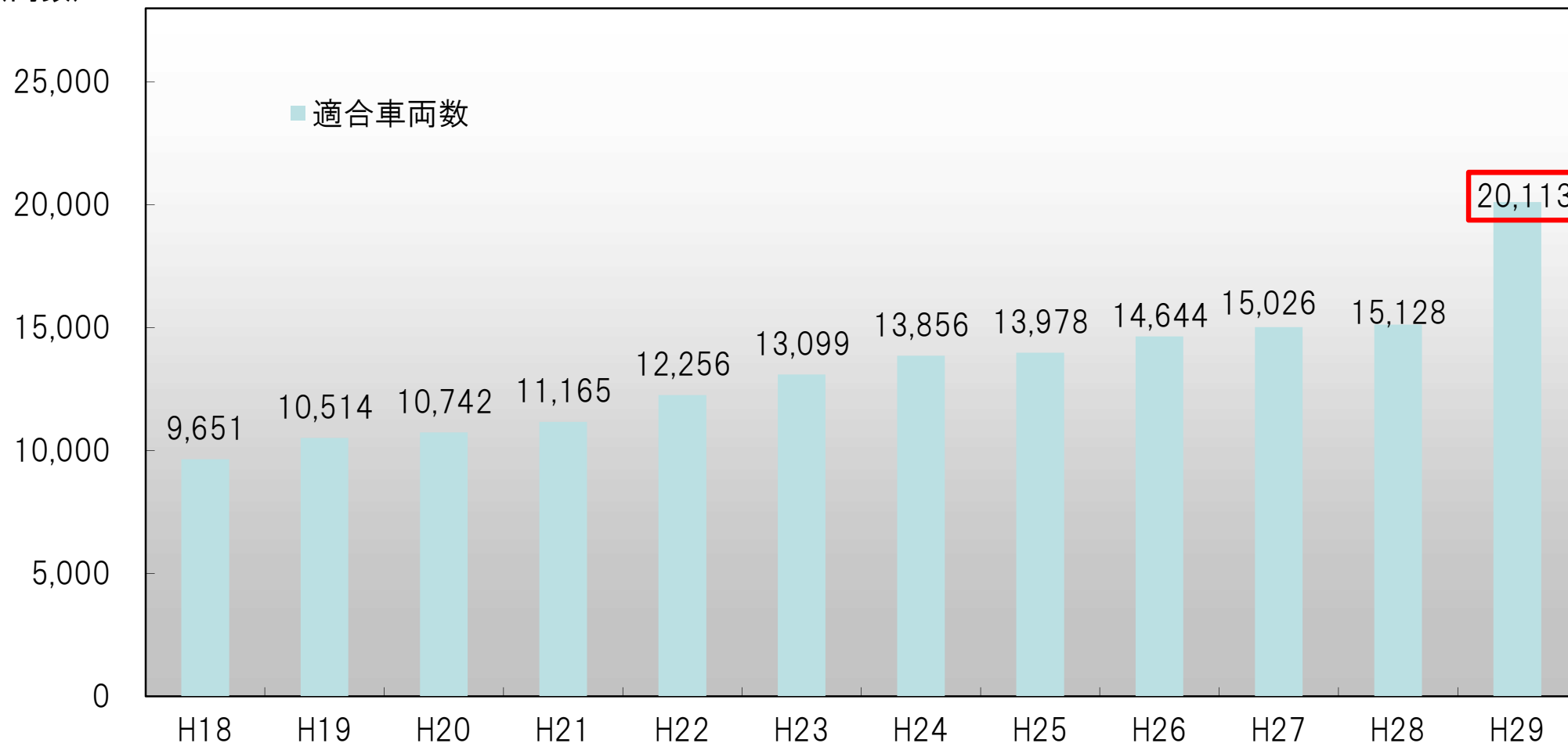
(目標値:約70%/2020年度末) ※適用除外認定車両を除く		東北	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	全国合計
ノンステップバス	総数	3,141	450	551	1,021	279	146	694	46,132
	基準適合車両	1,061	82	113	511	58	94	203	26,002
	割合	33.8%	18.2%	20.5%	50.0%	20.8%	64.4%	29.3%	56.4%

福祉タクシーの導入の推移(全国)

◆福祉タクシーの導入の目標

2020年度までに、**約44,000台**(※)の福祉タクシー(ユニバーサルデザインタクシー(流し営業にも活用されることを想定し、身体障害者のほか、高齢者や妊産婦、子供連れの人等、様々な人が利用できる構造となっている福祉タクシー車両をいう。))を含む。)を導入する。(※2019年4月からの目標値。現在の目標値は約28,000台)

(両数) (公共交通移動等円滑化実績等報告による)



福祉タクシーの導入状況(東北県別)

- ・福祉タクシーについては、平成29年9月に発売されたユニバーサルデザインタクシー(JPN TAXI)の販売開始(2018年9月)もあり、全国的に大幅な増加傾向にある。
- ・県別に見ると、福島県における導入数が多い。

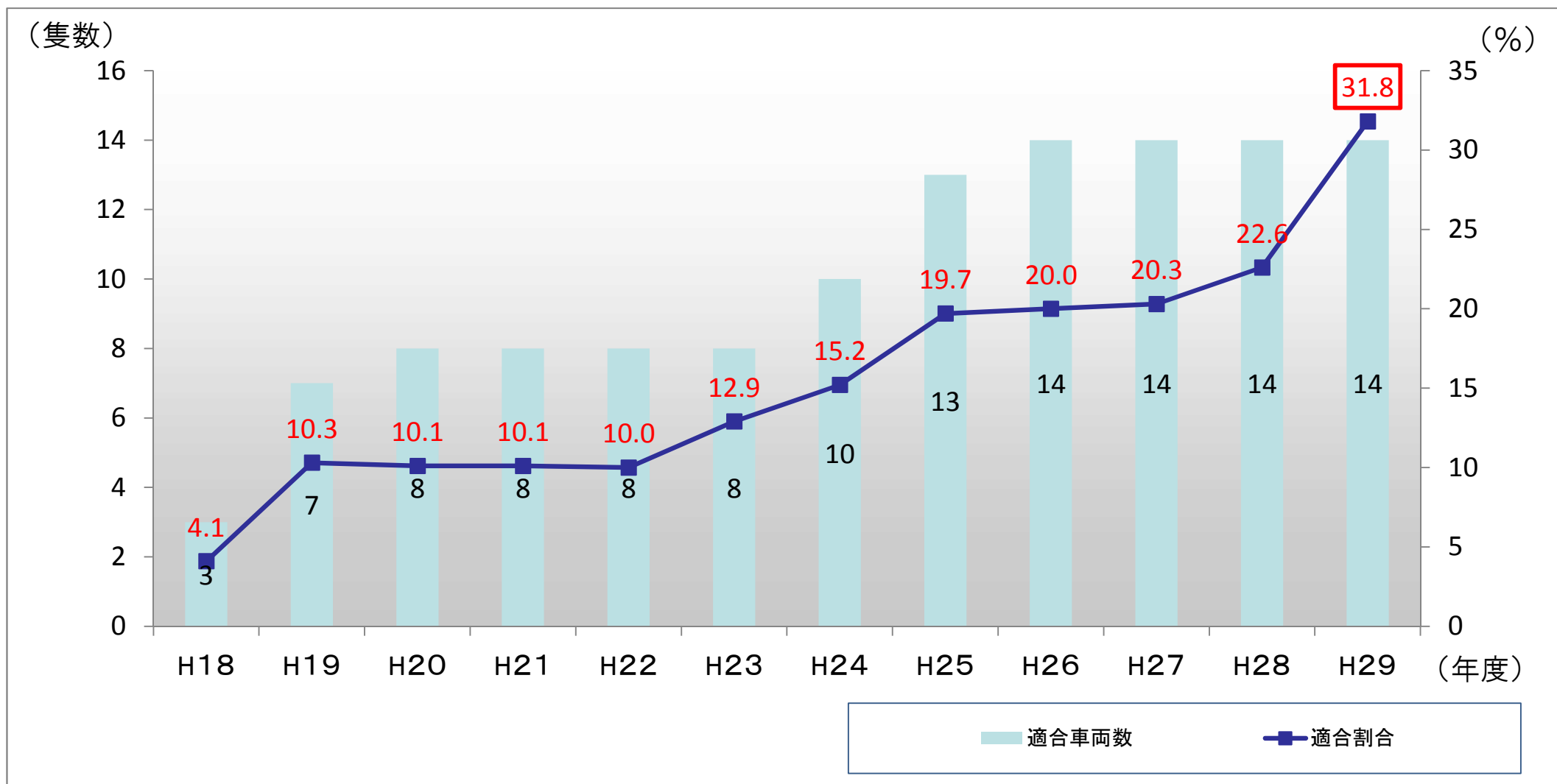
(目標値:約44,000台/2020年度末)		東北	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	全国合計
福祉タクシー	基準適合車両	1,552	289	268	293	163	199	340	20,113

旅客船のバリアフリー化の推移(東北)

◆旅客船のバリアフリー化の目標①

全国で総隻数800隻のうち約50パーセントに当たる400隻について、2020年度までに、移動等円滑化を実施する。

(公共交通移動等円滑化実績等報告による)



旅客船のバリアフリー状況(東北県別)

- ・旅客船のバリアフリー化は、約3割について実施済。
- ・県別に見ると、宮城県の進捗率が高い。

①旅客船

(目標値: 約50%/2020年度末)		東北	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	全国合計
①旅客船	総数	44	13	1	19	3	6	2	660
	基準適合車両	14	3	0	10	0	1	0	289
	割合	31.8%	23.1%	0.0%	52.6%	0.0%	16.7%	0.0%	43.8%

②一日当たりの平均的な利用者数が5,000人以上である旅客船ターミナルに就航する旅客船

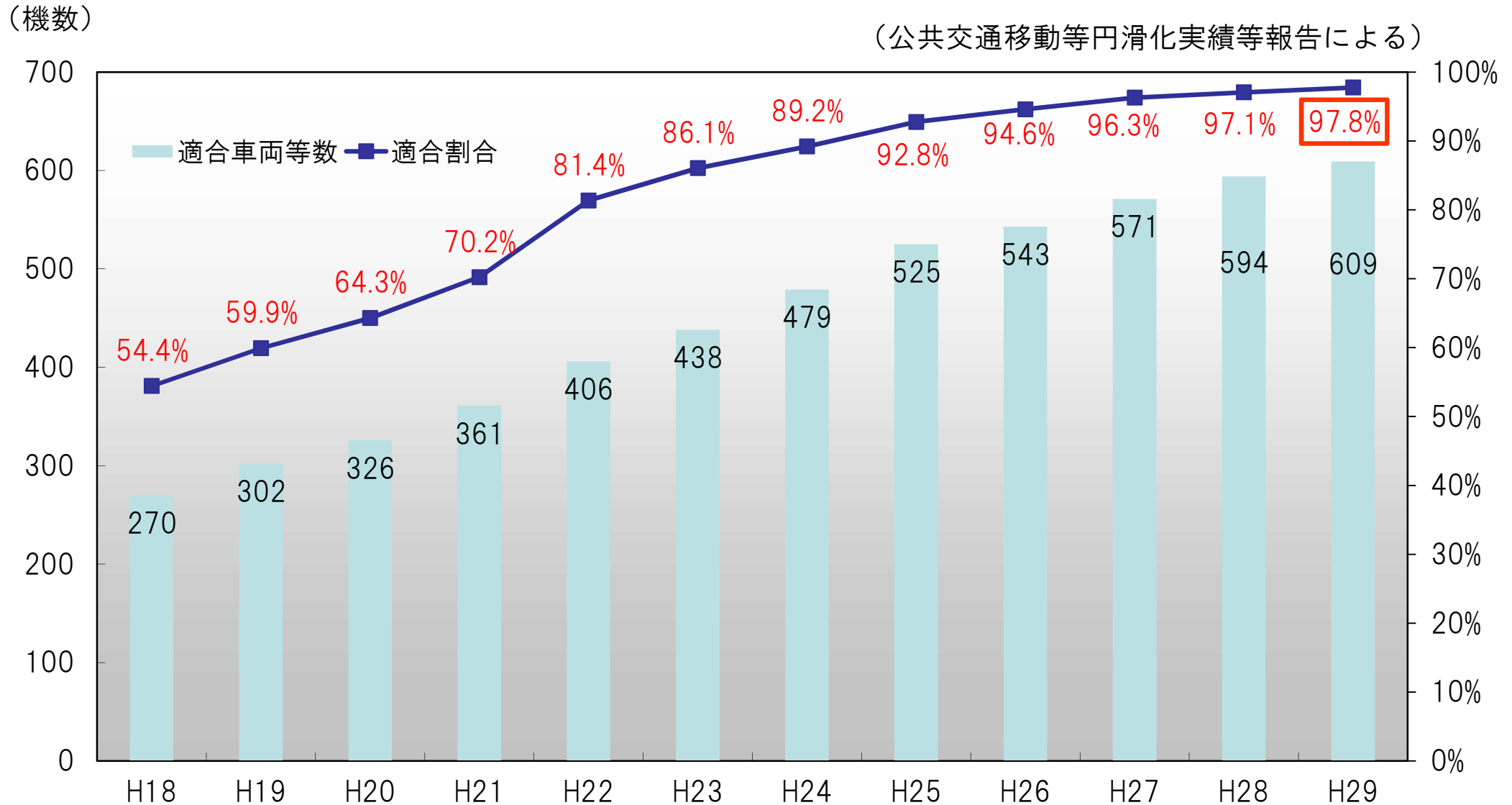
(目標値: 原則100%/2020年度末)	北海道	東北	北陸信越	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	合計
総数	—	—	—	—	—	—	16	4	5	22	47
基準適合車両	—	—	—	—	—	—	5	0	3	15	23
割合	—	—	—	—	—	—	31.0%	0.0%	60.0%	68.0%	48.9%

航空機のバリアフリー化の推移(全国)

◆航空機のバリアフリー化の目標

総機数約620機について、原則として全て(※)移動等円滑化を実施する。

(※2019年4月からの目標値。現在の目標値は約90%)

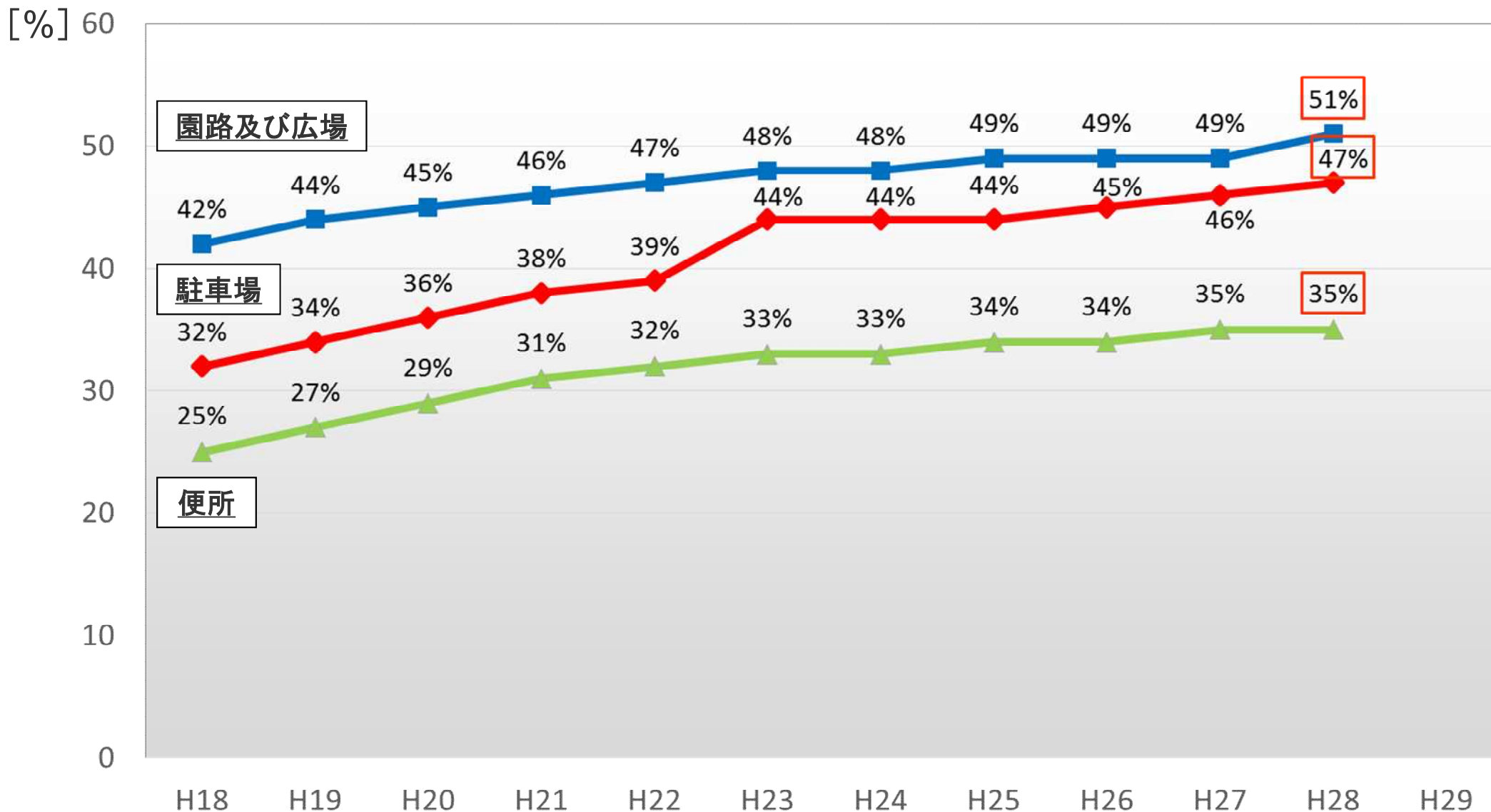


都市公園

都市公園のバリアフリー化の推移(全国)

◆都市公園のバリアフリー化の目標

園路及び広場(特定公園施設であるものに限る。以下同じ。)及び駐車場の設置された都市公園の約60パーセント、便所の設置された都市公園の約45パーセントについて、2020年度までに、移動等円滑化を実施する。



都市公園のバリアフリー状況(東北県別)

- ・都市公園のバリアフリー化は、園路・広場、駐車場については4割強、便所については3割強の都市公園において実施済。
- ・県別に見ると、園路・広場については山形県、駐車場については岩手県、便所については青森県、宮城県、福島県、秋田県が進捗率が高い。

(平成28年度末時点)

(目標値: 約60%)		東北	青森県	岩手県	宮城県	福島県	秋田県	山形県	全国合計
園路及び広場	総数	5,739	839	1,003	1,564	1,042	463	828	93,455
	基準適合の数	2,457	352	408	569	477	192	459	47,683
	割合	42.8%	42.0%	40.7%	36.4%	45.8%	41.5%	55.4%	51.0%

(目標値: 約60%)		東北	青森県	岩手県	宮城県	福島県	秋田県	山形県	全国合計
駐車場	総数	779	103	103	164	169	95	145	8,910
	基準適合の数	329	36	67	61	76	35	54	4,216
	割合	42.2%	35.0%	65.0%	37.2%	45.0%	36.8%	37.2%	47.3%

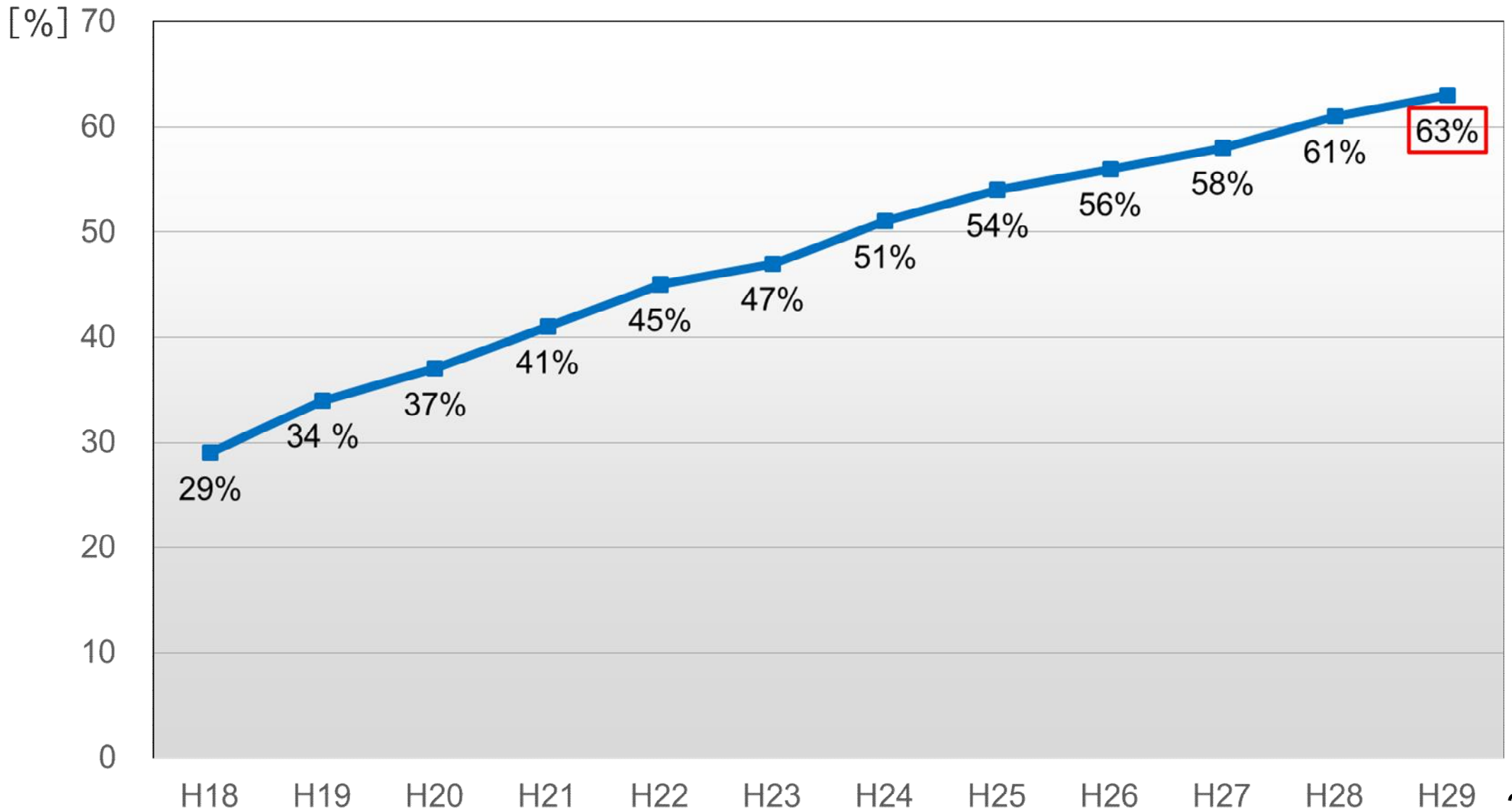
(目標値: 約45%)		東北	青森県	岩手県	宮城県	福島県	秋田県	山形県	全国合計
便所	総数	2,463	291	386	550	475	221	540	35,461
	基準適合の数	904	106	128	214	210	96	150	12,412
	割合	36.7%	36.4%	33.2%	38.9%	44.2%	43.4%	27.8%	35.0%

路外駐車場

路外駐車場のバリアフリー化の推移(全国)

◆路外駐車場のバリアフリー化の目標

特定路外駐車場の約70パーセントについて、2020年度までに、移動等円滑化を実施する。



路外駐車場のバリアフリー状況(東北県別)

- ・路外駐車場のバリアフリー化は、5割強の特定路外駐車場について実施済。
- ・県別に見ると、岩手県、宮城県における進捗率が高い。

(目標値:約70%)		東北	青森県	岩手県	宮城県	福島県	秋田県	山形県	全国合計
路外駐車場	総数[箇所]	196	32	51	39	16	29	29	3,791
	基準適合の数[箇所]	111	15	32	28	6	15	15	2,377
	割合	56.6%	46.9%	62.7%	71.8%	37.5%	51.7%	51.7%	62.7%